

FUKAYA News Release

市長定例記者会見次第

令和5年10月25日（水）
午前10時30分～

1. あいさつ

2. 発表内容

ページ

（1）【企業・農家・農業関係者の交流拠点】

1

『アグリテック交流施設 カタリバ深谷』がオープンします！

（2）【深谷の秋の祭典】

4

渋沢栄一の郷 第18回深谷市産業祭

3 その他配布資料

（1）令和5年度渋沢栄一月間関連事業

次回日程 定例記者会見

会場：市長公室

日時：令和5年11月17日（金）午前10時30分～11時30分

企業・農家・農業関係者の交流拠点 『アグリテック交流施設 カタリバ深谷』が オープンします！

■ これまでの取り組みと現状

深谷市は、『アグリテック企業集積都市 DEEP VALLEY』の実現に向けて、ビジネスコンテスト『DEEP VALLEY Agritech Award』や市内での実証実験へ向けた伴走支援、アグリテック交流会などの取り組みを実施してきました。これまでに関係を構築してきた企業は170社を超え、市とアグリテック企業との関係値は年々上昇している状況にあります。

そのような中、市内の農家や農業関係者の声を直接聞きたい、他のアグリテック企業との繋がりを持ちたいという企業のニーズも増えてきています。

また、深谷市への参入を検討する際、活動の拠点となるような場所があると良いというニーズもあります。

※アグリテックとは…農業（agriculture）×テクノロジー（technology）を組み合わせた造語で、農業が抱える課題を解決する知識やノウハウ、技術を指す。

■ 『アグリテック交流施設 カタリバ深谷』概要

アグリテック企業集積『DEEP VALLEY』の取り組みの一つとして、深谷市内にアグリテック企業が集まり、農家や農業関係者と交流できる施設『アグリテック交流施設 カタリバ深谷』がオープンします。

この施設では、常駐のコーディネーターにより、企業と農家や農業関係者あるいは企業間の効果的な連携を図り、市内での実証実験の実現、そしてその先にあるアグリテック企業の集積へとつなげていきます。

- ・施設名称：アグリテック交流施設 カタリバ深谷
- ・ところ：深谷市本住町3-3（カカシ米穀株式会社 本住町店舗跡地）※旧中山道沿いの空き店舗を借用して開設
- ・オープン日：10月30日(月)
- ・利用料：無料
- ・開館時間：午前10時～午後6時（土・日曜日、祝日、年末年始）

を除く)



▲外観



▲内部の様子

■ 施設の特徴

【コーディネーターの常駐】

運営委託先の株式会社 ATOMica にて採用したコーディネーターが1～2名常駐し、マッチングの促進を図ります。

【イベントの実施】

今後、アグリテック企業や農家、農業関係者などが集まるイベントなどを開催していく予定です。

【アグリテック企業にとっての利点】

- ・市内農家や農業関係者と交流することで、現場のリアルな声を直接聞くことができ、自社製品の開発・改良に活かすことができます。
- ・他企業との交流ができ、イノベーションの創出につながります。
- ・コワーキングスペースとしての利用や、市内農家あるいは農業関係者との打ち合わせ場所としての利用など、深谷市での活動の拠点としてもご利用いただけます。
- ・展示スペースにおいて、自社のアグリテック製品を PR することができます。

【農家、農業関係者にとっての利点】

- ・さまざまなアグリテック製品に関する情報を手にすることができます。
- ・日々感じている悩みや課題、アグリテック企業に期待することを直接伝えることができ、企業とともに実証実験を行うなど、アグリテックによる課題解決を追求することができます。

【深谷市による農業課題データバンクの創設】

上記の取り組みの中で集まった、農業現場のリアルな悩みや課題をデータとして蓄積し、農業課題データバンクを創設します。

データバンクをもとに、常駐するコーディネーターが、アグリテック企業と農家や農業関係者、あるいは企業間の効果的なマッチングを図り、市内での実証実験へとつなげていくことで、企業集積を更に加速させます。

■ 公式ホームページの開設

アグリテック交流施設公式ホームページを開設し、積極的に情報発信を行います。

URL : <https://katariba.atomica.co.jp/>

■ 問い合わせ先

深谷市役所産業振興部 産業ブランド推進室 企業誘致推進係

☎048 - 577 - 3819

渋沢栄一の郷 第18回深谷市産業祭

■ 開催目的

市内商工業製品・物産および農畜産物などを広く市民に紹介し、その振興発展と市民生活の向上に資するため、各種イベントを開催し、産業の発展に寄与することを目的として、『深谷市産業祭』を開催します。

中心市街地という地の利を活かし、既存商店街と連携しながら、本市の産業の発信を行うことで、祭典ならではの非日常的なにぎわいを、日常へつなげる取り組みとして実施します。

■ とき

11月11日（土）・12日（日）午前10時～午後4時（12日は午後3時まで）

■ ところ

深谷市役所・市役所通り・中山道の一部・レンガ通り

■ 来場者数（第17回深谷市産業祭）

令和4年11月5日 34,000人

6日 34,000人

■ 概要（参加） ※参加企業・団体数：130

【商工部門】

- ・商工業製品販売ブース
市内の企業による自社製品の展示・販売、事業紹介など
- ・友好都市物産展
深谷市の友好都市（新潟県南魚沼市、岩手県田野畑村、静岡県藤枝市、群馬県富岡市）による特産品の展示・販売など

【農業部門】

- ・農業王国ふかや『やっちゃ場』
農業団体や女性農業者による、深谷産農畜産物の販売や農機具の展示・体験。深谷産農畜産物を使った飲食提供ブースなど
- ・その他、野菜や花のフォトスポットなど深谷の農業を五感で味

わうさまざまなコンテンツを用意

【その他同時開催】

- ・ネギロック

深谷市近郊の高校生などによるステージパフォーマンス

- ・スタンプラリー
- ・ミニ消防車との写真撮影
- ・骨董市

■ 主催 深谷市

■ 問い合わせ先

- ・事務局・全体に関すること

深谷商工会議所 ☎048 - 571 - 2145

- ・企業展示・友好都市に関すること

深谷市役所産業振興部 商工振興課 ☎048 - 577 - 3409

- ・農業王国ふかや『やっちゃ場』に関すること

深谷市役所産業振興部 農業振興課 ☎048 - 577 - 3298